研究組織と運営

（1）組織

①研究部会は特別支援部・低学年部・中学年部・高学年部の４部会を母体とするが、研究教科によっては教科部会を設置し研究を進める。

②研究推進委員会は，教頭・教務・生徒指導・研推長・副研推長(各学年部代表)・研究推進委員・指導部長で構成する。

③検討内容により，拡大研究推進委員会を開催する。

④中学校との合同の研究組織を準備し「小中交流会」で研究会を実施する。

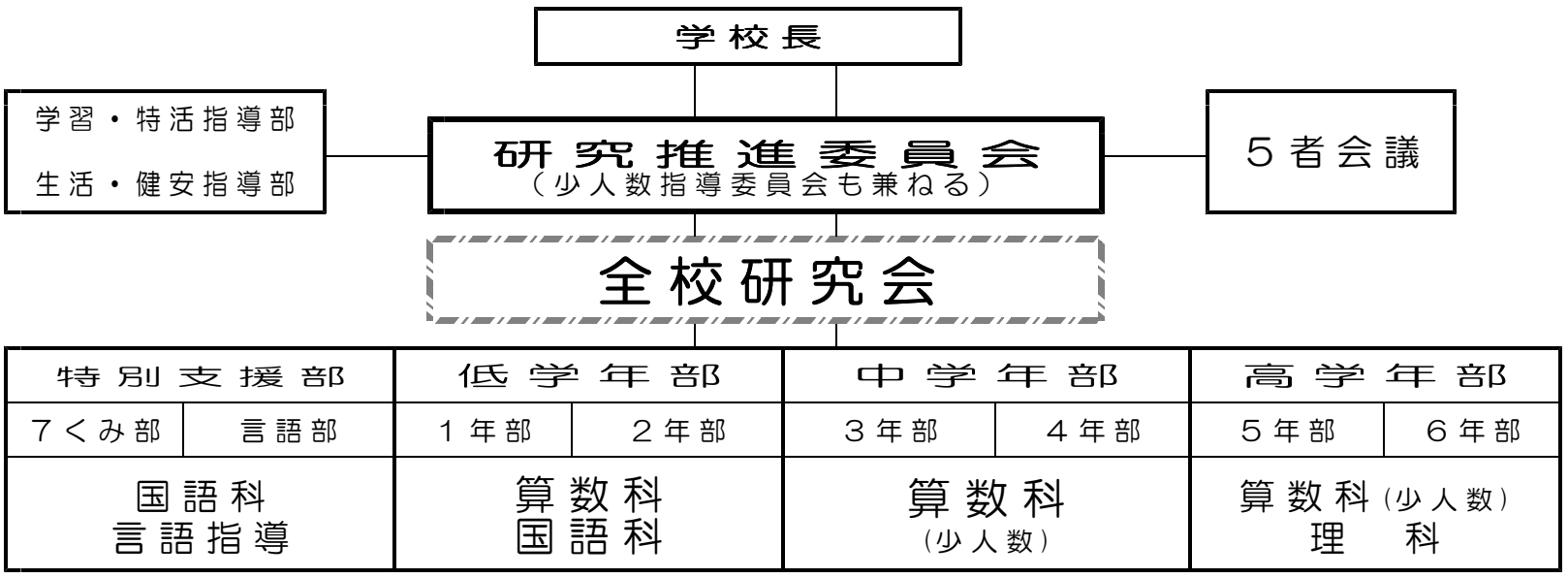
（2）運営

①研究推進委員会は，月行事予定の中に位置づけ，月１回以上開く。

②授業研究会は，原則として各学年部で全校研１回，部内研１回を実施する。

③全学級が1回は授業公開(事前研・部研・全校研)することとする。

＜研究組織図＞



月別研究計画

月	研究内容	特別支援部	低学年部	中学年部	高学年部
4	○研究構想・研究内容の共通理解を図り、学年部の研究テーマを決定する。 ・学年、学年部での共通理解 ・児童の学力実態の把握 ・実態に応じた手立ての工夫	・研究の内容・方法のの確認と共通理解 ・全研・部研実施月と授業者、研究テーマ等の設定			
5		部　会 （学年研）	部　会 （学年研）	部　会 （学年研）	部　会 （学年研）
6		部　会 （学年研）	部　会 （学年研）	**6/11全研** **（算数科習熟度別）** **３年２組２分割**	部　会 （学年研）
7		部　会 （学年研）	部　会 （学年研）	部　会 （学年研）	**7/9全研** **（算数科習熟度別）** **６年生**
8	○第一次中間まとめと今後の方向付けをする。	６年生全国学力学習状況調査の結果分析および１学期末全校学期末学習定着の結果と学習状況調査の結果分析による指導方法の工夫改善			
9	○研究を深める。 ・実践交流 ・公開授業への参加 ・授業研究会での仮説検証と実践記録の積み上げ	部　会 （学年研）	部　会 （学年研）	部　会 （学年研）	部　会 （学年研）
10		部　会 （学年研）	**部研** **（国語科）**	部　会 （学年研）	部　会 （学年研）
11		部　会 （学年研）	部　会 （学年研）	部　会 （学年研）	**部研** **（理　科）**
12		部　会 （学年研）	**12/5全研** **（算数科TT）** **２年１組**	**部研** **（算数科）**	部　会 （学年研）
	○第一次中間まとめと今後の方向付けをする。	２学期末全校学期末学習定着の結果と学習状況調査の結果分析による指導方法の工夫改善			
1	○実践のまとめと来年度の方向を決定する。 ・学力諸検査の結果の分析 ・成果と課題のまとめ ・「研究の歩み」の原稿完成	**1/30全研** **（国語科）**	部　会 （学年研）	部　会 （学年研）	部　会 （学年研）
2		部　会 （学年研）	部　会 （学年研）	部　会 （学年研）	部　会 （学年研）
3		４・５年生岐阜県学力学力・学習状況調査の結果分析および３学期末ＣＤＴⅢ学力調査の結果分析による指導方法の工夫改善			

○研究の進め方

- 全員が授業研（全研・部研・事前研）のいずれかを行い、研究主題の具現を図るテーマを決定し研実践を積み上げる。
- 部研では、部員による研究会事前研・事後研を行う。
- 研究推進委員会は、各学年部授業者の構想を尊重しつつ、研究協議を行い共通理解を図る。
- 指導案は算数科の指導案の様式に準拠するが、各教科の特性に合わせた内容とする。各研究部会のテーマについて重点を明確に示す。なお、指導計画は構造化するなど工夫し簡素化を図る。